

第 210 回松阪市民病院治験審査委員会 会議の概要

開催日時	2025 年 7 月 4 日（金）17:30 より 19:25 まで
開催場所	松阪市民病院 2 階 講義室
出席委員	杉本 恭子、米村 重則、春木 祐司、西脇 亮、伊藤 健太郎、二宮 昭人 西村 はるか、柳川 久史、中田 順也、岩瀬 晃子
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題①CSL ベーリング株式会社依頼による 非囊胞性線維症性気管支拡張症の成人患者（18～85 歳）を対象に CSL787 を吸入投与したときの有効性、安全性及び忍容性を評価する第 2b 相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、並行群間比較、プラセボ対照、用量設定試験 ・新規申請 治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題②BioNTech SE 株式会社依頼による 非小細胞肺癌の 1 次治療として、BNT327 と化学療法剤及びその他の治験薬とを併用する国際共同試験の第 II／III 相、多施設共同、無作為化、マスター試験 ・新規申請 治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題③日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社依頼による 気管支拡張症患者を対象として BI 1291583 2.5 mg を 1 日 1 回、最長 76 週間投与したときの有効性、安全性及び忍容性を評価する第 III 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照比較試験 ・新規申請 治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題④第一三共株式会社依頼による HER2 過剰発現かつ PD-L1 TPS 50%未満の局所進行切除不能又は転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象とした、一次治療としてのトラスツズマブ デルクステカンとペムブロリズマブの併用療法と、プラチナ製剤を含む化学療法とペムブロリズマブの併用療法の有効性及び安全性を比較検討する第 III 相多施設共同無作為化非盲検試験</p>

	<p>・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑤グラクソ・スミスクライン株式会社依頇による コントロール不良の喘息を有する 18~75 歳成人患者を対象とした抗 TSLP 抗体 (GSK5784283) の無作為化、二重盲検、プラセボ対照、用量探索、並行群間、多施設共同、第 II 相試験</p> <p>・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑥MSD 株式会社依頇による PD-L1 TPS が 50% 以上の転移性非小細胞肺癌患者の一次治療として MK-2870+ペム ブロリズマブ併用療法をペムブロリズマブ単独療法と比較する無作為化非盲検第 III 相試験</p> <p>・重篤な有害事象等に関する報告書 当院より報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑦MSD 株式会社依頇による 転移性扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象に、一次治療としてペムブロリズマブ、カルボプラチナ及びタキサン系薬剤 (パクリタキセル又は nab-パクリタキセル) の併用投与後に維持療法として MK-2870 の併用又は非併用下でペムブロリズマブを投与する第 III 相試験</p> <p>・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
--	--

	<p>議題⑧アストラゼネカ株式会社依頼による PD-L1 陽性の転移性扁平上皮非小細胞肺癌患者に対する一次治療として、 Rilvegostomig 又はペムブロリズマブと白金製剤を含む化学療法の併用療法を評 価する第 III 相ランダム化二重盲検国際多施設共同試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ・治験に関する変更申請書 変更の妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑨アストラゼネカ株式会社依頼による PD-L1 陽性の転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者に対する一次治療として、 Rilvegostomig 又はペムブロリズマブと白金製剤を含む化学療法の併用療法を評 価する第 III 相ランダム化二重盲検国際多施設共同試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 ・治験に関する変更申請書 変更の妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑩MSD 株式会社依頼による KRAS G12C 変異陽性、PD-L1 TPS 50%以上の転移性非小細胞肺癌患者の一次治療 として、MK-1084 とペムブロリズマブの併用投与をプラセボとペムブロリズマブ の併用投与と比較する無作為化、多施設共同、二重盲検、第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑪グラクソ・スミスクライン株式会社依頼による PD-L1 で選択した未治療の切除不能な局所進行又は転移性非小細胞肺癌患者を対 象として dostarimab 及び belrestotug を併用投与したときの安全性及び有効性 をペムブロリズマブ及びプラセボの併用投与と比較評価するランダム化、多施設 共同、二重盲検、第Ⅲ相試験</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・治験に関する変更申請書 変更の妥当性について審議した。 審議結果：承認 <p>議題⑫IQVIA サービシーズ ジャパン合同会社依頼による 原因不明の慢性咳嗽を含む難治性慢性咳嗽の成人参加者を対象とした BLU-5937 の 24 週間の有効性及び安全性を評価する第 3 相無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較及びオープンラベル継続投与試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・治験に関する変更申請書 変更の妥当性について審議した。 審議結果：承認・報告事項 独立データモニタリング委員 <p>議題⑬Fortrea Japan 株式会社依頼による 慢性閉塞性肺疾患患者を対象に astegolimab の有効性及び安全性を評価する第 III 相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 <p>議題⑭ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社依頼による 進行性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第 3 相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認
--	---

	<p>議題⑯ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社依頼による 特発性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討 する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第 3 相試験 ・ 安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑰インスメッド合同会社依頼による ENCORE – <i>Mycobacterium avium Complex (MAC)</i> に起因する肺非結核性抗酸菌 (NTM) 症の新規診断を受けた成人患者を対象に、アミカシンリポソーム吸入懸濁液 (ALIS) ベースレジメンの有効性及び安全性を評価する、ランダム化、二重盲検、 プラセボ対照、実薬対照、多施設共同試験 ・ 安全性情報等に関する報告書 報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑮ヤンセンファーマ株式会社依頼による EGFR 変異局所進行又は転移性非小細胞肺癌患者を対象として一次治療としての アミバンタマブとラゼルチニブの併用、オシメルチニブ、及びラゼルチニブを比 較する第3 相ランダム化試験 ・ 重篤な有害事象等に関する報告書 当院より報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性 について審議した。 ・ 治験に関する変更申請書 変更の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑯第一三共株式会社依頼による Actionable 遺伝子変異がなく、治療歴のない PD-L1 TPS50%未満の進行又は転移性 非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象とした Datopotamab Deruxtecan (Dato-DXd) とペムプロリズマブの併用療法（プラチナ製剤化学療法との併用又は非併用）を 検討する無作為化第 III 相試験 ・ 重篤な有害事象等に関する報告書 当院より報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性 について審議した。</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 <p>報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none">・報告事項 <p>プロトコール</p> <p>議題⑯第一三共株式会社依頼による</p> <p>Actionable 遺伝子変異がなく、治療歴のない PD-L1 高発現（TPS が 50%以上）の進行又は転移性非小細胞肺癌患者を対象とした Dato-DXd 及びペムブロリズマブ併用療法とペムブロリズマブ単剤療法を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 <p>報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none">・報告事項 <p>治験実施計画書</p> <p>議題⑰第一三共株式会社依頼による</p> <p>上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼ阻害剤（TKI）療法が奏効しなかった転移性又は局所進行の上皮成長因子受容体変異陽性（EGFRm）非小細胞肺癌（NSCLC）を対象としたパトリツマブ デルクステカンとプラチナ製剤併用化学療法を比較する第Ⅲ相無作為化非盲検試験</p> <ul style="list-style-type: none">・治験実施状況報告書 <p>当院における治験実施状況を報告した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑱中外製薬株式会社依頼による</p> <p>進展型小細胞肺癌の未治療患者を対象にベバシズマブ + アテゾリズマブ + カルボプラチナ又はシスプラチナ + エトポシドの併用とプラセボ + アテゾリズマブ + カルボプラチナ又はシスプラチナ + エトポシドの併用を比較する第Ⅲ相二重盲検ランダム化試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 <p>報告された副作用情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none">・報告事項
--	---

	<p>治験実施計画書</p> <p>議題②2アストラゼネカ株式会社依頼による 増悪歴を有する慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象として Tozorakimab の長期 有効性及び安全性を評価する第 III 相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、長 期投与、並行群間比較、プラセボ対照継続投与試験 ・報告事項 治験実施計画書</p> <p>議題②3アストラゼネカ株式会社依頼による 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の頻繁な増悪歴があり、かつ、末梢血中好酸球数增多 が認められる中等症から最重症の COPD 患者を対象としてベンラリズマブ 100mg の有効性及び安全性を評価する多施設共同、無作為化、二重盲検、長期投与、並 行群間比較、プラセボ対照、第 III 相臨床試験 ・報告事項 治験実施計画書</p>
特記事項	